特定非営利活動法人　なかのドリーム

2017 年 11 月　6 号

私たちは重症心身障害児者のサポート団体です　H.P　http://nakanodream.main.jp/

事務局　〒164-0012　中野区本町 6-36-5-102　電話 03-6454-1230　fax03-6454-1231

幸福（Well-being）とは

先日、「NPO 法人わかみやクラブ親の会いろとりどり」との共催シンポジウムが開催されました。その中でパネラーの一人が、発達障害をもつ自身の子が社会に出てからの経済的不安について言及されていました。障害者やその家族がどのような生活実態なのか、気になりました。

日本の相対的貧困率は国民の約 6 人に 1 人、子どもの約 7 人に 1 人であり、ひとり親世帯の約 2 人に 1 人に至ってはOECD 加盟国中最悪です。そのデータは 09 年以降 3 年毎に公表されていますが、障害者またはその世帯の公的数値は出ていないようです。慶応大の研究グループが厚労省の国民生活基礎調査から分析したところ、障害者の相対的貧困率は25%以上で約 4 人に 1 人であり、健常者に比べてほぼ 2 倍とのことです。障害者の働ける場の少なさ、低賃金、障害年金など公的な現金給付水準が先進国中でも低いことが主な要因であり、暮らしの実態は厳しいとしています（『貧困研究』vol.15　2015）。

貧困の対義語は幸福です。その幸福（well—being）とは様々な社会サービスを通じて達成されるという社会福祉的理念を意味しており、家族だけに負担を押しつけるものでは決してありません。そのことを再認識したシンポジウムでした。

今後ともご理解ご支援をいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

理事長　高田功二

ポストカードを作りました

子ども達が季節ごとに製作している作品を、ポストカードにしました。クリスマス柄とおめでたい時にぴったりな富士山柄の二種です。ご希望の方には販売もいたしております。
問い合わせﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ
info@nakanodream.main.jp

東京新聞取材

「十人十色 障害を知って」
地域で暮らす課題考える
中野でシンポ、母親4人発表

シンポジュウム「わたしたちはここにいるよ」の記事が、10 月 31 日東京新聞朝刊に掲載されました。学校卒業後、地域で暮らす不安の声が多い中「なかのドリームの岡田美奈子理事（障害児保護者）は「幅広い職種が選べ、地域に受け入れる施設が増えれば」と求めました。

わたしたちはここにいるよ シンポジュウム報告

10 月 28 日（土）於：中野区医師会館/「NPO 法人わかみやクラブ親の会いろとりどり」（知的発達障がい児の親）と「なかのドリーム」（医療ケアのある重心児の親）の共催シンポジュウムを開催いたしました。それぞれのお子さまの特徴や生活をご紹介しながら、障がい児を育てること、障がいの受け止め方、地域で生活していくこれからの課題（成人になっていく段階での課題）などをパネラーの保護者がお話しし、山田医院の山田正興医師からコメントをいただきました。おでんくらぶ利用保護者作成の紙芝居「ゆっくりでいいよいっきくん」や、医療・福祉機器の展示なども行いました。最後に、山田先生から、堀江菜穂子さんの著書「いきてこそ」をご紹介いただき、心のバリアフリーの必要性を説かれました。寒い雨の日にもかかわらず、お子さま連れやご家族でお越しいただいた方も多く、二階の親子会場もあわせて総勢７５名の方にご参加いただき、ありがとうございました。

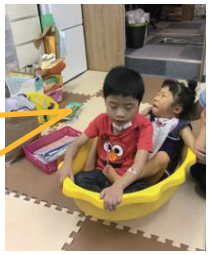
東京新世紀ライオンズクラブの坂井会長にもお越しいただきました。ご協力いただいた中野区医師会、および中野区教育委員会には心より御礼申し上げます。

坂井会長と
高田理事長・佐藤副理事長・宮地理事・三輪監事・岡田理事・福満理事

東京新世紀ライオンズクラブさまよりご寄付いただきました

ご寄付でノートパソコン、楽器、療育に使うおもちゃなどを購入しました。

軽いタッチで音が出たり、感覚を養うための工夫がされたおもちゃです。大きなバケツ型のローリングシーソーはみんな大好き！



なかよし二人。一緒に遊べて楽しいね。

強化段ボールの椅子と机でお勉強！

ご寄付いただき、ありがとうございました。

おでんくらぶ事業報告

＊登録者数：28 名（児童発達支援 6 名・放課後デイサービス 22 名）
【中野区 17 名　杉並区 8 名　渋谷区 2 名　目黒区 1 名】
＊月利用のべ人数と一日の平均利用人数、および利用率

6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
114 人	103 人	118 人	84 人	100 人
4.38 人	4.12 人	4.72 人	3.5 人	4.17 人
87.6%	82.4%	94.4%	70%	83.4%

8 月ははじめて 90 パーセント以上の利用となりましたが、9 月はキャンセルが 22 名と多く利用率が下がりました。学校のお休みの日と水曜日に希望者が重なり、キャンセル待ちいただく日が出ております。10 月 14 日に避難訓練、18 日に保護者会を開催いたしました。災害に備え、職員全員が対応できるようにしていきたいと思います。保護者会では、医療ケアの実施や、保護者のかたも自分の時間がもてるようになったことがありがたいと、あたたかい言葉をいただきました。
＊おでんくらぶ活動の様子はホームページのブログでご覧ください。

訪問介護なべ事業報告

＊登録者数：13 名【中野区 11 名　杉並区 1 名　新宿区 1 名】
訪問介護なべでは現在、3 区にお住いの方にご利用いただいております。より、多くの方のご希望に応じたサービスを行うため、登録ヘルパーを募集しています。ぜひお問い合わせください。
＊管理者：佐藤浩子
サービス提供責任者：上條瑠璃呼　松田弥生

子どもが大好きなスタッフを募集しています！！

児童発達支援と放課後デイサービスおでんくらぶ・訪問介護なべで勤務していただける職員を募集しています。ヘルパー・児童指導員（保育士・教職・社会福祉士の有資格）・児童発達管理責任者資格者ほか。お気軽にお問い合わせください。
＊お問い合わせ先：ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　info@nakanodream.main.jp

第４回　なかの地域福祉推進フォーラム【困った時に助け合える地域を作る】～今私たちが出来ることを考える～

9 月 30 日　帝京平成大学にて、中野区社会福祉協議会主催のフォーラムで、「障害があっても自分らしく暮らせる地域づくり」と題して、なかのドリームの実践報告を福満美穂子理事がさせていただきました。
基調講演として東洋大学社会学部社会福祉学科准教授の加山先生から、助け合える地域づくりの必要性についてお話しいただきました。実践報告では「中野よもぎ塾」の大西さま、「若年性認知症交流会小さな旅人たちの会」の高橋さまのご講演もあり、大勢の方が熱心に聞き入っていました。

賛助会費・寄付のお願い

重症心身障害児の放課後デイは、需要がありつつも新規参入が難しい事業です。事業を継続していくために、ぜひみなさまのご寄付をお願いいたします。

・賛助会費 1 口 1 万円
・寄付金　千円~

①【ゆうちょ銀行から】
[口座記号・番号]
00190-3-420254

②【他金融機関から】
ゆうちょ銀行
[店名・店番] 019（ｾﾞﾛｲﾁｷｭｳ）
[種目]当座
[口座番号] 0420254
[口座名]特定非営利活動法人なかのドリーム